

## “輝け！ひぐみっ子” だより

～東汲沢小学校教育目標「学びあい 高めあい まちとともにあゆむ ひぐみっ子」～

☎861-5531

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/higashigumisawa/>ひぐみっ子の  
みなさんへ！

スイミーからのメッセージ

校長 丹羽正昇

ひぐみっ子の気持ちを想像し、ひょっとしたらこうなのかなと思いつきながら書いてみました。  
 「本当なら、8月27日が夏休み明けの初日だった。本当なら、クラスみんなに会えたのになあ。  
 今日は9月1日。分散登校の初日だ。学校の半分の仲間は、午前か午後のどちらかで登校している。いや、  
 新型コロナウィルス感染症を考えて、登校を見合わせている友達もいる。新型コロナウィルス感染症に  
 かかったり、それを怖いと思ったりするのは、当たり前のことだ。感染症にかかった人や、それを怖いと思  
 う人を悪く言う人もいるらしいけど、そんなのはおかしいと思う。PCR検査だって受けたことを堂々と言  
 えない雰囲気もあるらしい。いまは、インターネットなどで、誰だかわからない状態でコメントする大人や子  
 どもがたくさんいる。そんなニュースを見たり身近な人の話をきいたりすると、いかりを通りこして、なんだ  
 か悲しい気持ちになる。他の人の気持ちを考えない発言は、いつかは自分にも向けられるのに。それに気づか  
 ないなんて、やっぱり悲しすぎる……」

いま、新型コロナウィルス感染症拡大のニュースが、毎日流れています。それを見ているのは、大人だけではありま  
 せん。ひぐみっ子のみなさんも、さぞかし心を痛めていることとおもいます。分散登校を実施することで、全員が集まれな  
 い状況は、どんな理由があるにせよつらいことですね。でも、自分の命やなかまの命を守るためには、がまんをし  
 なければならぬこともあるはずですよ。

では、私たちは、やれることを日々全部やっているのでしょか。手を洗う、換気する、黙って食べる、むだなおしゃべり  
 をしない、なかまにいじわるをしない、なかまに迷惑をかけないなどなど。あれ、感染症拡大防止とは、関係ないことも  
 あるようにみえますね。いえいえ、関係ないことなんてありません。しっかりやるべきことをしっかりやることと、やってはい  
 けないことを絶対にやらないということとは、実はつながっています。それらに共通しているのは、自分と他の人を大切  
 にするということです。いま、新型コロナウィルス感染症が、私たちの生活を楽しくないものになっています。しかし、楽し  
 くない毎日が続いていることでみてきたことがあります。それが、自分と他の人、両方を大切にすることのよさです。し  
 かし、それはどうすればよいのでしょうか。みなさんならどうしますか。

レオ=レオさんの絵本に「スイミー」があります。大きな魚のせいで一度はなかまを失った経験をもつスイミーが、  
 悲しい思いを乗り越え、生きる力を取り戻し、豊かに生きていく方法を見つけるというお話です。スイミーが、再びな  
 かまを失わないようにとった行動は、「スイミーは考えた、いろいろ考えた、うんと考えた」ということでした。ここで  
 大切なのは、自分のために考えたのではなく、なかまのために考え続けたことです。

ひぐみっ子のみなさんなら、もう分かりましたよね。自分にだけつごうよく考えたのでは、自分と他の人、両方を大切  
 にすることはできないということです。どんな状況でも、自分を信じながら、他の人のことを真剣に考えて生活するこ  
 とが大切なんです。そして、あきらめずに考え続けることも大切なんです。答えなんて、そんなに簡単に見つかる  
 わけではありません。しかも、だれも教えてくれない。苦しいです。でも、スイミーは、あきらめなかった。そして、考えて  
 導き出した答えは、「みんなでいっしょにおよぐんだ」ということです。悲しい思いをしたスイミーは、自分の悲しみと他  
 の人の悲しみを重ねて、強く生きる決断をしました。きっと悲しい経験が、なかまとの力を合わせる喜びを見つけること  
 につながったのでしょか。スイミーからのメッセージ。ひぐみっ子のみなさんにも受け取ってほしいと思います。